

神郷校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成 27 年 8 月 27 日 17:00～20:40

場所 神郷公民館

参加者数 男 64 人 女 7 人 合計 71 人



質疑応答（要約）

1. 連合自治会共通の市政課題

「健康都市づくりについて」

・・・ 福祉部次長 説明・・・

特になし

2. 校区課題

①課題名（忠魂碑山のり面への落石防止ネット及び上り口への防護柵設置について）

【質問】

昨年度、忠魂碑山西側のり面に擁壁が整備されましたが、土砂や落葉などの落下や飛散に悩まされているため、ブロックやネットによる対策を行ってほしい。

また、墓地への進入路は舗装を実施していただいたが、勾配が急なうえに幅員が狭く、下側林道との段差があり、危険なため転落防止柵を設置してほしい。

【経済部長】

ブロックやネットによる対策については、がけ崩れの対策の関係で愛媛県が現地調査を

行っていただけることから、その調査結果を見て、今後の対応を協議したいと考えている。
また、墓地への進入路の舗装については、あくまで林道法面の保護という観点から、法面整備工事の一環として施工したものであり車両等の進入は想定しておらず、人の通行に関しても自己責任としていただきたく、転落防止柵等の対応については困難であると考えている。

②課題名（忠魂碑山東南部の土砂災害防止について）

【質問】

忠魂碑山周辺部は土砂災害特別警戒区域に指定されているが、山の頂上付近の崖が崩れかけている。現地は、住宅や道路が近接しており、地震時や集中豪雨時には落石や土砂災害が発生する恐れがあるため、早急に防災施設の整備をお願いしたい。

【建設部長】

がけ崩れの対策については、原則、土地の所有者又は被害を受けるおそれのある当事者が行うものであるが、がけの規模、保全戸数及び工事に必要な用地の寄付など一定の条件を満たすものについては、県及び市により対策工事を行うことが可能となっている。

今年度、がけの規模や保全戸数等の現地調査を県で実施し、対策事業実施の可否を確認することとなっている。いずれにしてもがけ崩れの対策工事は早急な対応は困難であるため、当面は気象情報に注意し、危険と思われる場合は早めの避難をお願いする。

③課題名（神郷校区の浸水対策について）

【質問】

集中豪雨時に郷地区の幹線水路に流れ込んだ雨水が神郷小学校と公民館の間の市道に溢れてしまう。まずは神郷小学校と公民館の間の市道まで雨水幹線の整備を速やかに行っていただきたい。また、郷山からの雨水は全て幹線水路に入るのので、校区の抜本的な浸水対策として雨水幹線をさらに上流部、郷四丁目の鉾前神社周辺まで整備を進めてほしい。

【環境部長】

神郷小学校西側市道の冠水については、江の口1号幹線が完成すると、排水効率が高まり一定の浸水軽減が図られるものと考えている。

また、抜本的な浸水対策については、現在主要地方道から南の地域は、公共下水道の事業計画区域に含まれていないことから、事業計画区域に含める必要がある。次期の区域拡大を平成29年度に予定しているが、当該地区は公共下水道の整備が急がれる区域であると認識しているので、事業計画区域の拡大に向け検討していく。

④課題名（江の口団地内道路交通安全対策[江の口交差点渋滞時の通過車両進入対策]について）

【質問】

江の口交差点については、夕方の帰宅時間帯に渋滞が発生することにより、多くの車両が渋滞した交差点を回避するため、江の口団地内の道路を高速度で通過している。

このまま放置すれば事故が発生する可能性があるため、車両進入規制などの交通安全対策を行ってほしい。

【建設部長】

当箇所を管轄する東予地方局建設部道路課へ照会したところ、「県においても当箇所の渋滞は確認しているので、市道の関係部署や警察と対策方法について協議してまいりたい。」との回答であった。

また、信号機の時間調整や江の口団地内道路への車両進入規制等について、管轄する新居浜警察署へ照会したところ「信号機の時間調整については、交通量の状況も見て、県警本部へ要望する。また、車両進入規制については、団地内住民を含めての通行規制を納得できるのであれば可能である。」との回答であった。

市道路課としては、注意喚起のためのカラー舗装や「徐行」の路面標示等を追加して、安全対策に努めたい。

⑤課題名（江の口団地の雨水対策について）

【質問】

江の口団地の雨水排水施設は遊水池堤防に設置されている排水ポンプ1箇所のみである。

この件については昨年の校区集会でも説明を求めたが、先に排水ポンプの運転管理を調整することとした。

地元としては、集中豪雨時にも浸水することなく安心できるように早期に既設水路を雨水幹線へ接続する工事を再開してほしい。

併せて昨年の校区懇談会以降の取り組みと実施状況、並びに今後の予定について説明をお願いしたい。

【環境部長】

江の口団地の雨水対策につきましては、江の口雨水ポンプ場へ排水するため、現在、江の口ポンプ場から地区内の大西様宅前まで雨水幹線の整備が完了しておりますが、ポンプの起動水位より、団地北側にある水田の地盤高が低いことから、対策が必要となり、平成25年度に電動ポンプを自動運転化し、平成26年度には、団地内の排水が可能となるまでポンプの起動水位を下げ、試運転を行ってまいりました。

しかしながら、電動ポンプのみでは近年の頻発するゲリラ豪雨など想定外の降雨があった場合には、初期の排水が追いつかなくなる可能性が排除できないとの結論に達しました。このことから、降雨時の初期段階から安定的に排水するために、ディーゼルポンプについても自動運転化を優先的に実施することといたしました。

以上のことから、今年度は、江の口ポンプ場のディーゼルポンプの自動運転化を行い、来年度以降に排水の状況を見ながら、順次団地内の水路を接続していく予定です。

⑥課題名（交通安全対策と信号機の設置について）

【質問】

例年、校区集会の課題としているが、県道多喜浜泉川線、壬生川新居浜野田線の一梅酢前、神野石油前、下郷自治会館前については、信号機の設置がなかなか進まない状況である。市での対応は難しいところもあると思うが、安心して県道を横断できるように信号機の設置について積極的に要望を行ってほしい。

【建設部長】

信号機の設置について、管轄する新居浜警察署へ確認したところ、「一梅酢前、下郷自治会館前については、現地調査したところ、県道多喜浜泉川線へ進入する道路幅員が狭く、信号待ちで車両の離合が不可能であること、また信号機の設置場所がない等の理由で不採択となりました。また、神野石油前については、年末までに現在の点滅信号を廃止し、押しボタン式信号機を設置する予定としております。」との回答があった。

3. その他

（校区課題終了後の自由意見時に神郷校区の雨水排水について、次の発言があった）

雨水対策により落神川から長岩遊水地への流入量が増加している。

このため、遊水池から外海への排水ポンプを設置し、強制的に排水してほしい。

【環境部長】

遊水池への新たな排水ポンプ場設置については、これまでの校区集会でも提案があったが、多額の事業費がかかり困難であることを回答させていただいている。遊水池から外海への排水は満潮時であっても樋門操作によって自然流下方式で行っており、江の口ポンプ場が運転開始した昭和 61 年以降、樋門操作により特に問題は生じてないと考えており、今後も適切な樋門操作で対応していきたい。

【橋本神郷校区連合自治会顧問】

本日の課題で、解決していない問題については、連合自治会長や公民館長と協議をしながら市と協議をしていきたい。